

みやぎ型管理運営方式

これからも安全・安心な水をお届けするために

令和4年4月から実施している「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式^{*})」は水道事業の運営を一括して運営事業者(民間事業者)に委託する運営方式です。みやぎ型の対象は、県が運営している水道事業12事業^{*}のうち9事業です。

県は水道事業の最終責任者として、皆さんに安心して水道を使っていただけるよう、運営事業者と連携してさまざまな取り組みを行っています。今回はその一部をご紹介します。

※以下「みやぎ型」 ※水道用水供給事業2事業、工業用水道事業3事業、流域下水道事業7事業の合計12事業

モニタリングの実施

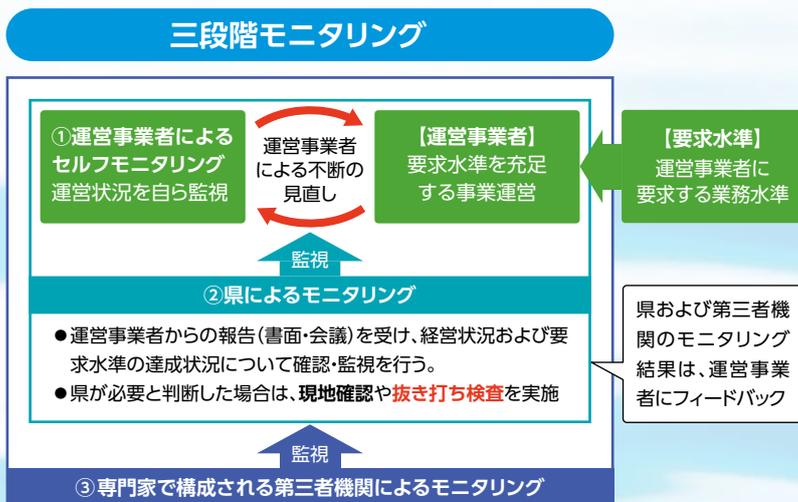
皆さんに安全安心な水を安定してお届けするため、運営事業者が水質や浄水場の維持管理について、「県が定めた基準」を守っているか、モニタリングを行っています。

モニタリングは、運営事業者、県、専門家で構成される第三者機関のそれぞれが実施し、三段階で運営状況を厳しく監視しています。

県は、水道法に基づく定期的な水質検査を毎月実施しているほか、運営事業者に対して抜き打ちで水質検査を行い、水道水の安全性を確認しています。これらの結果はホームページで公開しています。



／ホームページはこちら



水みやぎDXプラットフォーム(MDP)の構築

みやぎ型における各施設の運転状況、水質、維持管理など事業運営に関する情報を、一元的に管理できるプラットフォームが運営事業者によって運用されています。

今後もMDPを活用し、集約した情報をより分かりやすい形で発信していきます。



統合型広域監視制御システムの導入

9事業を一元的に監視制御する「統合型広域監視制御システム」の導入により、各施設の遠隔監視と制御が可能になります。監視の強化と運転管理の効率化が図られるとともに、災害時の情報収集や復旧のスピードを速める効果も期待されます。



上工下水運転状況の遠隔監視の様子

みやぎ型の表彰実績

みやぎ型が、官民連携モデルとして高く評価され、表彰を受けました。

- 第1回「PPP/PFI 事業優事例表彰」(大臣賞)
- 第7回インフラメンテナンス大賞(国土交通大臣賞)
- 令和5年度水道イノベーション賞(特別賞)



第1回「PPP/PFI 事業優事例表彰」(大臣賞)